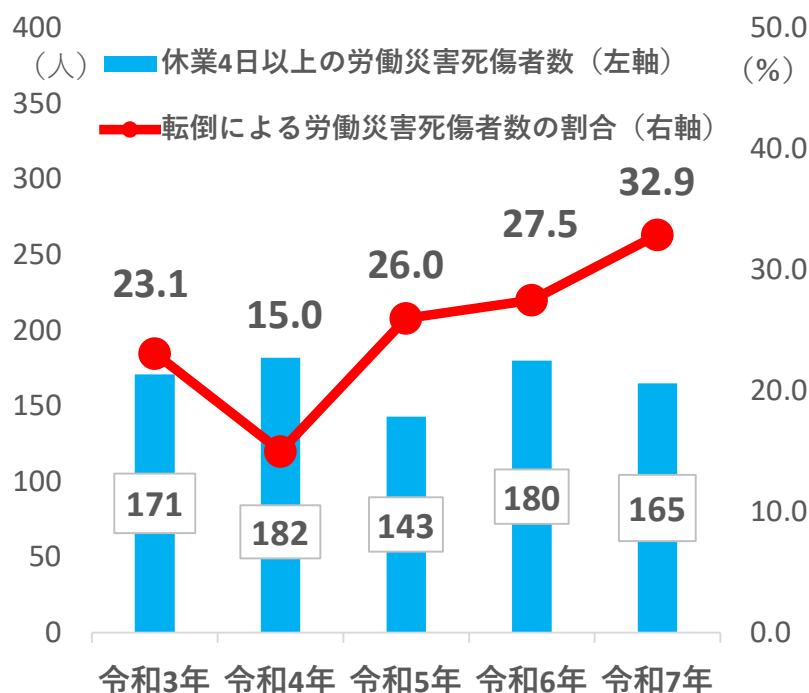


転倒による労働災害が増加しています

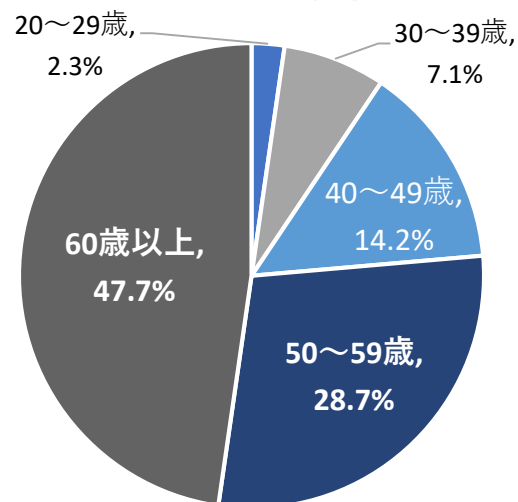
Q1. 転倒による労働災害、そんなに増えとるがけ？

過去5年における転倒による労働災害の死傷者数（休業4日以上。以下同じ。）は、新型コロナウイルス数が急増した令和4年を除き、全死傷者数の20%超を占めていましたが、令和7年は32.9%を占めるまでに増加しました。

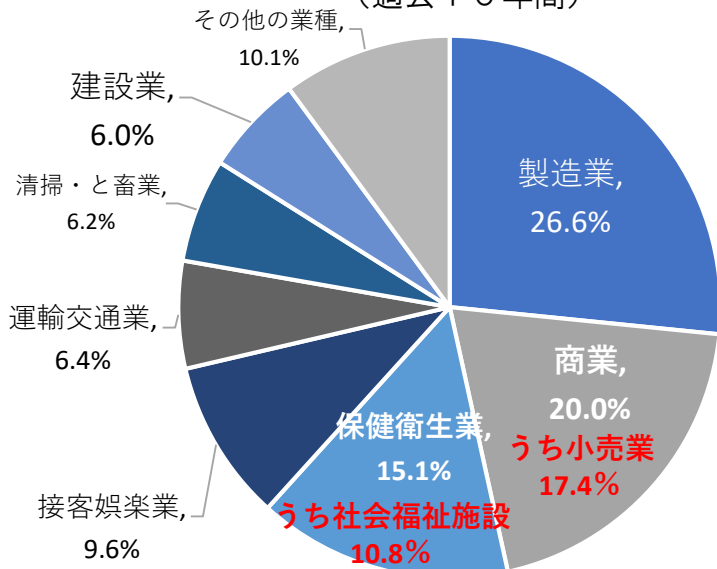
砺波労働基準監督署管内（砺波市、小矢部市及び南砺市）は、製造業に次いで『医療、福祉』、『卸売業、小売業』に従事する就業者数が多いとされており、とりわけ小売業や社会福祉施設などの第三次産業における転倒災害の割合が多いことからその防止のための取組推進が必要です。



下図：転倒災害死傷者の年代別割合（過去10年間）



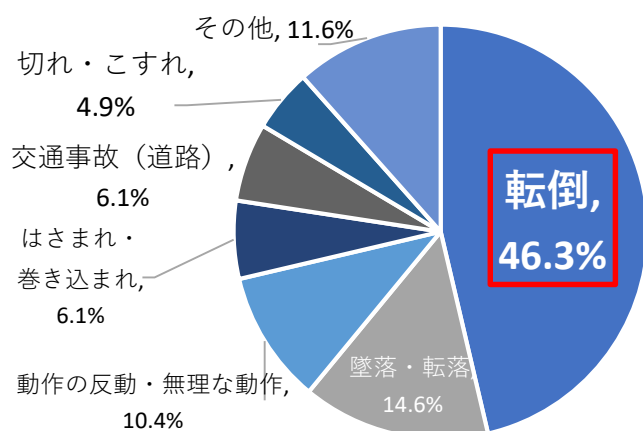
下図：転倒災害死傷者の業種別割合（過去10年間）



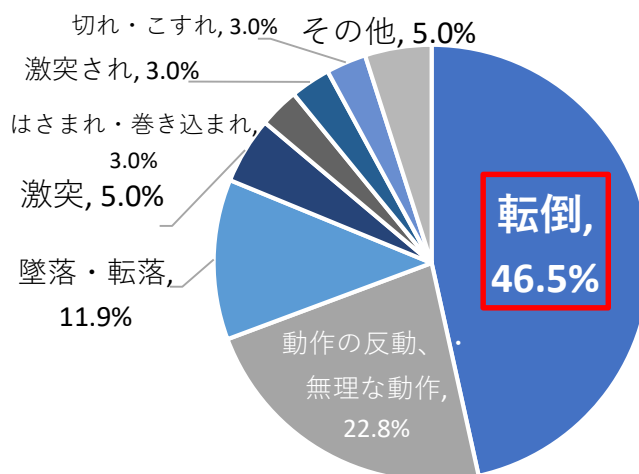
砺波市、小矢部市及び南砺市の業種別就業者数

製造業	17,101
医療、福祉	8,928
卸売業、小売業	8,565
建設業	6,077
農業、林業	3,455
サービス業（他に分類されないもの）	3,391
教育、学習支援業	2,946
運輸業、郵便業	2,821
宿泊業、飲食サービス業	2,715
その他	10,083

下図：小売業における事故の型別割合
(過去10年間)



下図：社会福祉施設における事故の型別割合
(過去10年間、感染症を除く。)



Q2. 転倒災害、どんな対策すればいいがけ？

転倒災害は、



などに類型化されます。

- ・『滑り』予防のため、**作業場や通路上の水、油、洗剤及び粉末等の除去、凍結防止設備等の導入、耐滑シューズの採用**
 - ・『つまずき』予防のため、**整理整頓、作業場や通路の凹凸解消や障害物除去**
 - ・『踏み外し』予防のため、**段差の解消や表示による『見える化』**
- 等の対策が考えられます。

その他にも、加齢による身体機能の衰えに備え、気づきを促すための「**体力チェック**」も有効であると考えられます。

体力チェック



事業者のみなさまは、巡視・パトロールにより作業場内の転倒危険箇所を把握し、安全衛生委員会等での付議により、積極的な転倒災害防止対策を検討しましょう。

以下のサイトでも情報発信を行っております。

[職場のあんぜんサイト：転倒災害防止対策の推進について](#)

[「エイジフレンドリー補助金」について](#)

